

平成18年度 第7回 経営審議会議事要録

日 時 平成18年6月13日（火）14:00～16:00

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 <委員>阿南理事長、矢田副理事長（学長）、重渕理事、出口理事、晴山理事（副学長）、羽田野理事（事務局長）、稲積委員、高橋委員、（奥監事、清原監事）

配布資料

- 1 専門職大学院ビジネススクール設置資料
- 2 北九州市立大学学部学科再編の基本的な方向
- 3 平成17年度計画に係る自己点検・評価報告書案
- 4 平成17年度財務諸表書、決算報告書及び事業報告書
- 5 大学の地域貢献度ランキング（日経グローバル）掲載記事
- 6 教育研究審議会における審議経過

議事要旨

第1号 専門職大学院ビジネススクール設置について

・齋藤ビジネススクール設置準備室長より、ビジネススクール設置について提案、資料説明

●「パブリック・マネジメント系」は、他の大学にもあるのか

○パブリック・マネジメントを専門で行っている大学がある。アメリカと違い日本のビジネススクールは、ゼネラルの部分を含んだ大学が多い。慶応大学や一橋大学など先行している大学は、アメリカ型だが、後発組の小樽商科大や香川大などは、パブリック・マネジメントを取り入れている。

●入学者の募集は、どのように行うのか。

○相当な努力が必要と考えている。募集人員のうち20名を企業から、10名を自治体・NPOや医療法人等から募集したいと考えている。地元経済団体や近隣自治体にも働きかける予定。8～9月ごろに、プレイベントを小倉都心部で行いたい。

●選考の問題はどう考えるか。継続的な人材養成を考える企業や自治体は、継続的な入学を希望するだろう。当初はこちらが入学を要請しておきながら、ふるいにかけてという事態が予想される。多様な入学制度を考えていただきたい。

○組織推薦も検討したい。

●色々な推薦による選考方法と一般選考とを行った方がよいのではないか。

○選考方法については、今後もっと詰めていきたい。

●サテライトキャンパスをアジアインポートマート（AIM）にするのは、受ける側にとってはいいことだと思う。とても利便性がよい。企業側にとっては便利である。

- 「中国ビジネス系」と「環境ビジネス系」はともに学べるのか、それとも片方のみか。
- 両方学べるようにしたいと考えている。

【議長】本議案について原案どおり承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 北九州市立大学学部学科再編の基本的な方向について

・学長より、学部学科再編の基本的な方向について提案、資料説明

- 「中国学科」「英米学科」であれば、名称は「外国語学部」でいいのか。
- 学部名はブランドになっている。どこの大学もそれを活かした再編を行っている。本学は、外国語をベースとしてより広い範囲のものを目指しているので、学部の名称は変更しない。
- 夜間主コースは、今でも北九州市立大学の特色となっているか。人気があるか。
- 安定して需要のある学部と需要が少なくなっている学部がある。そこを踏まえてこれから検討したい。
- 外国語学部は北九州市立大学のブランドであり、安定的に需要がある。また、夜間主コースについては、全体として全学的視点で社会の要請に対応する形で早急に取り組みたい。

【議長】本議案について原案どおり承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 平成17年度計画に係る自己点検・評価報告書について

・事務局より、平成17年度計画に係る自己点検・評価報告書について提案、資料説明

- 評価の仕方について、計画を遂行していく進捗を評価するのも一つだが、計画は何かの目標があって立てるもの。何が目標になるのか。目標に向かっていろんなことを行っていく。北九州市立大学は、何がどう変わっているのか。
- 今回の評価は、中期計画を6年間の期間で策定し、平成17年度の年度計画を作り、その進捗状況の評価を行った。今後も毎年行うことになる。他に、大学評価機関での評価もある。その計画をきちんと遂行することで大きな目標も達成できると考えている。

- 基本的目標については、評価書の 1 ページで明示してあるが、今年度の計画実施と本目標との関連について明示する必要がある。
- （現状を見ると）北九州市立大学はがんばっている。ここまできちんとやっている例はないのではないか。しかし、その結果が何かが見えてこない。企業なら利益など数字でわかる。大学では結果が抽象的である。一つの指標として、就職率が上がったとか、優秀な学生の入学者が増えたとか目標設定、評価も考えていいのではないか。内部目標として少しずつ取り入れ始めてもよいのではないか。
また、学生支援も行っているが、出席率とか成績の向上度などのように学生の満足度を調べるなど、何かわかりやすいものから取り組んではどうか。北九州市立大学独自の評価でもよい。
- 1年前の経営審議会でもこの話題が出た。これまでは、スケジュールの進捗率を一つのものさしと考えていたが、今ご指摘いただいた点も今後考えていきたい。
- 社会人教育について聞きたい。北九大の公開講座を今受講している。北九州市立大学は、いろんなポテンシャルを持っていると感じる。今後、団塊の世代がどんどん大学に戻ってくる。もっと社会人に門戸を広げる方策をとってはどうか。市民教養学部のようなものを作って取り組んではどうか。
- 現在、いろいろと見直しを行っている。退職者や主婦層などが大学に入りやすいものを考えていきたい。大学に行きたくても行けなかった団塊の世代の入学できる条件も考えたい。新しい層に目を向けたい。今後、ご意見を踏まえて検討していきたい。

【議長】本議案について原案どおり承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 平成17年度財務諸表、決算報告及び事業報告について

- ・事務局より、平成17年度財務諸表、決算報告及び事業報告について提案、資料説明。
会計監査人の審査が終わっていることを報告。

- 損益計算書の利益について、経営努力の結果と認定されれば、どのように活用できるのか。
- 経営努力の結果かどうかについては、市評価委員会の審査を経て市が判断する。認定されたものは、中期計画の推進に大学が活用することができる。
- 行政サービスコスト37億円は、市の支出に直接あられるのか。
- 行政サービスコストとは、運営費交付金など直接大学が受けたものとは別に、市から無償譲渡された財産や使用料を免除されているものなど、民間であれば支払うべき費用を算出したものまで含めてコストを算定したものである。

【議長】本議案について原案どおり承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告事項

- ・事務局より、
 - (1) 大学の地域貢献度ランキング（日経グローバル）掲載について
 - (2) 教育研究審議会審議経過
 - (3) その他

について報告

(1)～(3)の項目について事務局から報告があり、審議し、了承を得た。

次回開催について

事務局から、次回審議会の開催について、平成18年10月10日(火)もしくは17日(火)の14時から開催したい旨説明があった。